

通信技術の革新に挑戦する学生論文特集の発行にあたって



通信技術の革新に挑戦する学生論文特集編集委員会

委員長 佐波 孝彦

「革新」とは、古くからの考え方などを新しく変えようとすることである。この半世紀の間に通信技術は大きな発展を遂げた。進歩の速度は未だ衰えていないように見えるものの、個々の技術に関しては、今や成熟期に入ったと考えることもできる。このような時代にこそ革新が求められている。しかし、こと技術に関しては、先人が体系化した知識を学ばずして新たな技術を産み出すことはなかなか難しい。過去の知見を全く利用しないで新たな技術を作り出すことは不可能と言っても過言ではない。

和文論文誌の存在意義は、蓄積された膨大な知見を母国語で読めることに他ならない。意外に思うかもしれないが、本会における和文論文へのアクセス数は英文論文にも勝るとも劣らないのである。今回で7回目となる学生論文特集は、学生諸君に通信分野を革新するための小さな一歩を踏み出すことに挑戦して欲しいとの願いを込めて、これまでと同様に和文論文誌編集委員会が企画した。

本特集に投稿された論文数は、論文17編、レター1編であり、厳正なる審査の結果、最終的に論文11編を採録することとした。判定にあたっては、御投稿頂いた

著者の思いに応えるべく、著者通知文の記載内容が明確になるよう、全ての論文の通知文を一字一句吟味した。また、採録論文の中から、特に優れた2編を優秀論文賞として選定した。和文論文誌Bのweb(<http://www.ieice.org/cs/jpn/JB/>)上で受賞論文を確認して頂きたい。

最後に、御投稿頂いた著者の方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の方々に深く感謝申し上げます。本特集をきっかけとして、学生諸君が今後も意欲的に論文を投稿してくれることを期待する。

佐波孝彦 (正員：シニア会員) 平4慶大・理工・電気卒。平6同大大学院前期博士課程了。平7～9日本学術振興会特別研究員。平9慶大大学院後期博士課程了。同年名工大・電気情報・助手。平10千葉工大・情報・講師。平14同大助教授。平20ブリティッシュコロンビア大・訪問准教授。平21千葉工大・教授。平24同大大学院・情報科学研究科長。現在に至る。博士(工学)。主としてデジタル無線通信、同期システム、無線信号処理に関する研究に従事。平21、平25本会通信ソサイエティ活動功労賞受賞。平25本会通信ソサイエティ和文論文誌編集委員長。IEEE会員。著書「移動体通信における同期技術」情報伝送の理論と方式など。

通信技術の革新に挑戦する学生論文特集編集委員会

- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 委員長  | 佐波 孝彦                     |
| 副委員長 | 山崎 憲一・塩川 茂樹               |
| 委員   | 有馬 卓司・内田 大輔・大西 輝夫・小川 剛史   |
|      | 小川 猛志・坂井 丈泰・笹森 崇行・末次 正    |
|      | 末田 欣子・平 明徳・高橋 徹・寺島 美昭     |
|      | 豊田 啓孝・中澤 進・中澤 仁・中野 雅之     |
|      | 西森 健太郎・長谷川 洋平・久永 光司・深田 陽一 |
|      | 福田 盛介・船越 裕介・星田 剛司・三上 学    |
|      | 山井 成良                     |